

2 年次前期・必修

2 単位・90 時間

【概要・目的】

地域で暮らす様々な発達段階にある人々の健康・生活の特徴に応じた支援について理解する。

【到達目標】

- 1) 妊娠期にある人々や乳幼児・保護者、成人期、高齢期の人々の健康・生活の特徴に応じた支援について理解する。
 - 2) 保育園で生活する子どもの成長・発達状況や健康・生活の特徴に応じた支援について理解する。
 - 3) 学齢期の子どもの成長・発達状況や健康・生活の特徴に応じた支援について理解する。
 - 4) 企業における成人期の人々の健康・生活の特徴に応じた支援について理解する。
 - 5) 地域で暮らす人々の発達段階や健康・生活の特徴に応じた支援のあり方について考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 実習期間：2 週間
 - 2) 実習場所：下記①～⑤それぞれの指定された施設
 - ①和歌山県内の保健所、市町村・保健センター
 - ②和歌山市内の子育て支援施設
 - ③和歌山市内のこども園・保育園
 - ④和歌山市内の小学校
 - ⑤和歌山県内の企業等
 - 3) 実習方法：施設別の実習計画に基づいて行う。
-

【評価】

実習目標に対する到達状況：実習記録、レポート（60%）、実習への参加態度（20%）、提出物（20%）により評価する。

【教科書】

なし

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】

- ・詳細については実習前オリエンテーションで説明する。
- ・今後の学習の基盤となる貴重な体験となるので、積極的な学習姿勢が必要とされる。
- ・関連科目の学習資料をまとめ、復習しておくこと。